

受験番号	
------	--

令和8 年度一般選抜C 日程

小論文課題

〔設問〕

次の文章を読んで、「タイパ」について、あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。

「タイパ」という言葉を耳にすることが増えた。タイムパフォーマンスを略した造語で、時間当たりの効率といった意味▼典型は映画や動画を倍速で見て、あらすじを追う行為など。味気なくも感じてしまうが、ネットにあふれる情報に囲まれた世代は時間の浪費を極端に嫌う▼若い感性が導く社会の変化は新たな可能性も広げる。新型コロナ禍で本格化した就職活動のオンライン化もそう。学生が企業説明会や面接のため遠方まで行く数が減った。都会で就職したい地方の学生、故郷にUターンしたい都会の学生、幅広く人材を採用したい企業、それぞれに利点がある。交通費や宿泊費が浮くコストパフォーマンスの向上も▼東京に本社がある雑誌の編集者は、日常化してきたリモート会議が業務のタイパとコスバを飛躍的に改善したと話す。地方のライターとの打ち合わせが容易になり、業界に根強い「東京の人材じゃない」という壁に風穴があいた▼この編集者も福岡で暮らし、東京への出勤は月数回。富山や長野に居を移す同業者もいる。さらに旧知という企業経営者の例を教えてくれた。「心が疲れた」と東京を離れ、今は九州を歩いて旅しながら合間にリモートで働く。ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を合わせた、これもはやりの「ワーケーション」の実践である▼タイパを意識した新たな生き方が、働くことの価値観を自由にしつつある。

【西日本新聞オンライン版 春秋『タイパ時代と地方の可能性』より抜粋】